

---

## 執筆者紹介

---

阿久津 智 (あくつ さとる)	拓殖大学外国語学部教授
舒 志田 (じょ しでん)	立教大学兼任講師
張 春陽 (ちょう しゅんよう)	広西師範大学講師
于 艶麗 (う えんれい)	瀋陽航天航空大学講師
石 恩京 (そく うんきょん)	立教大学兼任講師
謝 静 (しゃ せい)	温州医科大学講師
山下 洋子 (やました ようこ)	立教大学大学院院生
	・NHK放送文化研究所研究員
平井 吾門 (ひらい あもん)	立教大学文学部准教授

## 編集後記

2022年度もコロナ禍が続いている状況の中、ワクチン接種による旅行等の緩和なども進み、新年度の「従来通りの形」(が何であるかも忘れつつあるのですが)に向けた準備が続いております。今期は私が研究休暇を取得していることもあり、新年度は色々な意味での浦島太郎状態が続きそうです。

今回、雑誌の投稿準備を進められた方の中で、最終的に投稿を断念される方もありました。調査報告や研究ノートの欄を作るなどして、研究の種のようなものをどのように救い上げていくのか、論文の質は確保しつつも、本格的学術雑誌とはまた異なる形での存在意義も見出せればと思います。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。(平井)